

瑞穂市図書館だより

「読書のまち みずほ」をめざして、子どもの読書活動を推進しています。

2025. 03第106号

本館 058-326-2300

分館 058-328-7070

まだ厳しい寒さが続いています、少しずつ春の陽気が感じられるようになりました。図書館では今年度最後のイベント『製本ワークショップ 読書通帳ケースを作ってみよう』を本館にて開催します。詳しくは館内のポスターやホームページをご覧ください。分館では、入園・入学に関する本を展示しています。ぜひご活用ください。来年度も図書館ではたくさんのイベントを計画しています。お楽しみに！！

〈分館 臨時休館のお知らせ〉 3月14日(金) ※本館は開館します。
工事のため休館します。工事の進捗状況により18日(火)も休館になる場合があります。



3月のイベントカレンダー

<https://www.library-mizuho-gifu.jp>



日	月	火	水	木	金	土
本館のイベント『製本ワークショップ 読書通帳ケースを作ってみよう』 申込み受付: 3/1(土)~本館にて						1 〈分館〉 おはなしの会
2	3 休館日	4	5	6	7	8 〈分館〉 おはなしの会
9	10 休館日	11	12	13	14 〈本館〉 未就園児向け おはなしの会 分館臨時休館	15 〈本館〉 読書通帳ケースを 作ってみよう 〈分館〉 おはなしの会
16 〈本館〉 映画鑑賞会	17 休館日	18	19	20	21 休館日	22 〈分館〉 おはなしの会
23	24 休館日	25	26	27	28 休館日	29 〈分館〉 ストーリーテリング おはなしの会
30	31 休館日	「おはなしの会」 「未就園児向けおはなしの会」 「映画鑑賞会」 〔分館〕 毎週土曜日 14:30~ 絵本フロア 〔本館〕 第2金曜日 10:30~ おはなし室 〔分館〕 第4金曜日 10:30~ 絵本フロア (今月はお休みです) 〔本館〕 3/16 10:30~ 2階・学習室 定員20名				



新刊PICKUP!

一般・児童



『トイレと鉄道』

〈536/ソ〉

鼠入 昌史//著 交通新聞社

人間の営みにとって避けられない排泄。新幹線や長距離列車に乗ったとき、おなかの調子が悪くなったら焦りますよね。そんな時に「列車トイレ」はありがたいです。かつてのトイレはタンクがなく汚物がたれ流しでした。そんな最悪の衛生状態から今の快適なトイレになるまでの過程を、興味深く解き明かしています。



『理科と算数で検証したら、わかってしまった昔話の真実1 日本のお話編』

WILL こども知育研究所//編 フレーベル館 <児/404/リ>

さるかに合戦や一寸法師など、私たちの知っている昔話を少し違う視点から楽しむことのできる1冊。「かぐやひめ」は竹だった？それはいったいどういうことでしょうか。お話の中に出てくるふしぎなエピソードを、教科書に載っている理科と算数の知識でひも解きます。同じシリーズには、世界のお話編もありますよ。

※他にもまだまだあります♪ 一般(毎週土曜日発行)・児童(隔週土曜日発行)の新刊案内をご覧ください。両館お取り寄せできます。貸出中の場合は、予約できます。お気軽にお尋ねください。



『おとぎ話はなぜ残酷でハッピーエンドなのか』

ウェルズ 恵子//著 岩波書店 <児/388/ウ>

おとぎ話は最後に「めでたし、めでたし」で終わることが多いですね。ですが時には不道德な展開や残酷な場面が出てきます。多くは現代のショートノベルや漫画のように残酷な要素とともに空想的でロマンチックな筋立てにしています。闇と光の物語の深層に触れてみませんか。



『工場大すかん』

<児/500/ウ>

うえたに夫婦//作 偕成社

“つくりかたしり隊”の隊員たちが、みんなの身近にあるいろいろなモノの作り方を調べて発表していきます。えんぴつ、歯ブラシ、牛乳や絵本…完成するまでの工程をまるで工場見学しているかのように知ることができます。それぞれの工場の俯瞰図は、細かなイラストで描かれていて思わず見入ってしまいます。

本館 テーマブック

今月のテーマ
『おなかがすく本』



おいしいものが大好きなグルメのみなさん！
図書館にもたくさんのおいしいメニューをとりそろえて、お待ちしております！！



『春期限定いちごタルト事件』
米澤 穂信 // 著
東京創元社

<012.6/コ>



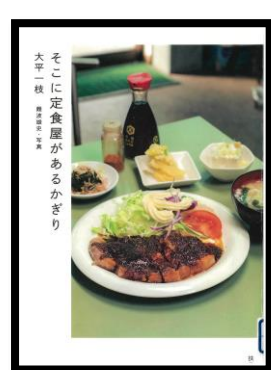
『おなかがすいたハラペコだ。』
椎名 誠 // 著
新日本出版社

<014.6/ハ>



『ぐつぐつ、お鍋』
阿川 佐和子 // [ほか] 著
河出書房新社

<914.6/ワ>



『そこに定食屋があるかぎり』
大平 一枝 // 著
扶桑社

<596.0/オ>

分館 テーマブック

今月のテーマ
『入園・入学・
ともだちの本・春の本』



『はるがきた』 主婦の友社 <E/ク>
シオン・シオン // 文 マーガレット・ブロイ・グレアム // 絵
カレンダーではすぐそこなのになかなかこない春。
「ぼくたちで まちを はるに しようよ」という男の子の言葉で、暗くしずんでいたまちの人たちはまちじゅうに花や緑の絵をかきます。するとまちは生まれ変わったように明るくなりました。ところがその晩激しい雨が降ってきて…
灰色だった街が色鮮やかに変わっていく様子に気持ちが明るくなる、春にぴったりの絵本です。

リブ
L・I・B

ヤングアダルト

YA向け おすすめの本



『誰も知らないのら猫クロの小さな一生』
なりゆき わかこ // 著 Gakken <児/913/ナ>
のら猫は自由に気ままに生きているようにみえますが、家猫の寿命が14.2歳に対して、のら猫は3～5歳しかありません。この物語は、のら猫がどのようにして生まれて、どのように暮らしているかが描かれた連作短編です。のら猫に関する問題にはほとんど人間が関わっています。のら猫たちの小さな「命」について考えてみて下さい。



『F ができない』 <児/913/マ>
升井 純子 // 作 文研出版
引っ込み思案の直大は、中学生になって今までの自分を変えたいと思っていたが、そう簡単にはいかない。不安な毎日、気持ちをホッとさせてくれるのは、兄からもらったギター。〈F〉のコードがむずかしい、できるようになるのはまだ少し先？ある日そんな直大を待っていたのは、そのギターをきっかけにクラスメイトとバンドを組むことだった…！



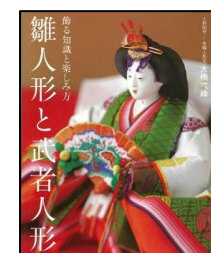
3月3日はひな祭り！



3月3日は女の子の成長と幸せを願う日ですが、もとは五節句の一つで上巳の節句ともいいます。ひな人形の由来はケガレを祓うためのヒトガタ。それがお守りとしての人形になり、やがて女の子の遊び道具へと変化。調度品も整った今のよう形になったのは、江戸時代になってからといわれています。各地で、ひな祭りイベントが行われるこの時期に、ひな人形について深く知ってみませんか。



「雛まつり」福田 東久 // 著
近代映画社 <386.1/フ>



「雛人形と武者人形」林 駒夫 // 監修
淡交社 <759/ヒ>



「日本の雛人形」是澤 博昭 // 著
淡交社 <759/コ>